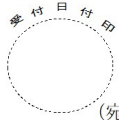


# 記入方法



## 納税証明申請書

(宛先) 名古屋市・市税事務所長

令和 年 月 日

どなたの証明書が必要ですか (納税義務者)	刀加ナ 氏名 (名称及び代表者氏名)	②		法人の場合 代表者印または社印を押ししてください
	生年月日	明・大・昭・平・令	年	月
窓口に来られた方 (申請者)	刀加ナ 氏名	③		申請者が納税義務者本人又は名古屋市内在住の住民票上同一世帯の親族以外の場合、本人からの委任状または承諾書を提出してください。
	住所 (所在地)	④		
運転免許証などの本人確認書類を提示ください	住所	⑤		
	電話番号	自宅・職場・携帯	⑥	
証明書は何に使われますか	納税義務者との関係	⑦		
	証明書の何に使われますか	⑧		
どの種類の納税証明書が必要ですか	証明の種類	課税年度、事業年度等		
	区分	平成 年度 A	平成 年度 B	平成 年度 C
課税年度、事業年度等と枚数を記入してください	個人市民税・県民税	平成 年度 D	平成 年度 E	平成 年度 F
	法人市民税	平成 年度 G	平成 年度 H	平成 年度 I
必要枚数	固定資産税・都市計画税(土地・家屋)	平成 年度 J	平成 年度 K	平成 年度 L
	固定資産税(償却資産)	平成 年度 M	平成 年度 N	平成 年度 O
必要枚数		⑨ 枚		

ここは記入しないでください。

①申請書を作成した日を記入します。

②証明して欲しい方の氏名、住所及び生年月日を記入します。

③法人が納税義務者の場合、代表印または社印を押印します。委任状がある場合は、申請書への押印は不要です。

④申請者の氏名及び住所を記入します。なお、郵送請求については、原則として本人からのみ受け付けています。

⑤日中に連絡のつく電話番号を記入します。

⑥証明書の使用目的を選択します。該当するものがない場合は、その他を選択し、()内に使用目的を記入します。

⑦お求めの証明種類を選択します。複数種類必要な場合は、複数を選択します。

※ 新型コロナウイルス感染症に係る各種支援・融資等の申請に使用する場合は、こちらの使用目的を選択し、()内に提出先及び支援制度名を記入します。

⑧お求めの証明種類(⑥)と区分欄(⑦)が交差する欄に、お求めの年度を記入します。なお、酒類販売及び滞納がない旨の証明については、記入不要です。また、その他に☑した場合は、お求めの証明について記入します。

⑨お求めの証明枚数を記入します。複数種類の証明をお求めの場合、各枠に必要な枚数を記入の上、⑧には合計枚数を記入します。

(証第61号様式)